



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2013-2014年度 R I 会長 ロン D. パートン

●クラブテーマ「心を見つめよう」●



第2590地区 ガバナー 市川 緋佐磨

- 会 長 伊 東 英 紀
- 会長エレクト 山 田 正 憲
- 副 会 長 江 森 国 一
- 副 会 長 横 山 範 夫
- 幹 事 山 本 芳 弘
- 副 幹 事 植 田 清 司
- 会 計 朝 日 達 夫
- 副 会 計 須 永 久 一
- S A A 矢 野 修 二
- 副 S A A 小 山 市 康
- 副 S A A 石 川 正 三
- クラブ会報 佐 藤 勝 彦



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2013-2014年度 第3週報 No. 1797 2013年(平成25年) 7月19日 第1797回例会記録 7月26日発行

司 会 植田 清司 副幹事

特別行事

点 鐘 伊東 英紀 会長

◎神奈川R.C 表敬訪問

斉 唱 「それでこそロータリー」



神奈川R.C 木元 茂 会長

四つのテスト 伊澤 政宏 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 木元 茂 様 (神奈川R.C 会長)
手塚 重仁 様 (神奈川R.C 幹事)

ビジター紹介 横浜本牧R.C 小野 哲 様

本日〈7月26日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「手に手つないで」
- ◆ 献 立 幕の内弁当
- ◆ 卓 話 新年度挨拶
プログラム、広報・IT、R情報、R財団、米山

誕生日祝

天野 公史 会員 (7月22日)



会長報告

伊東 英紀 会長

《訃報》

田邊会員の奥様(京子様)が7月14日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。なお、葬儀につきましては、通夜が本日18時より、告別式は明日11時より、妙蓮寺斎場にて執り行われます。

・7月度定例理事会報告

幹事報告

山本 芳弘 幹事

・先週に引き続き、今年度の会報用ファイルを受付に置いておりますので、お持ち帰り下さい。

スマイルボックス

石川 正三 副SAA

横浜本牧R.C 小野 哲様 赤堀さん、友添さんにはお世話になっております。今日はメーキャップでお伺いしました。よろしくお願ひ申し上げます。

神奈川R.C 会長 木元 茂様 本年度、神奈川R.Cの会長を務めます。ご指導賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

神奈川R.C 手塚重仁様 伊東会長、山本幹事をはじめとする神奈川東R.Cの皆様、今日は年度初めの表敬訪問に伺いました。よろしくお願ひ申し上げます。

天野公史君 ①木元会長、手塚幹事、ようこそいらっしゃいました。②誕生日祝い、ありがとうございます。年々祝い事の喜びに感動が薄れているような気がします。なぜでしょうか？

伊東英紀君 神奈川R.Cの木元会長、手塚幹事、ようこそおいで下さいました。田邊様、奥様のご冥福をお祈り申し上げます。

山本芳弘君 神奈川クラブ木元会長様、手塚幹事様、ようこそお出掛け下さいました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

月山 勇君 ①神奈川R.C 木元会長、手塚幹事、ようこそ公私共お世話になっております。②今日は私の委員長挨拶です。お耳汚しですが、一年間よろしくです。

江森国一君 田邊会員の奥様のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

飯田泰之君 山田富雄さん、お久しぶりです。

小池将夫君 食文化の研究をしている米山奨学生 李徳雨君に日本の“魚釣り食文化”を体験してもらおうと東京湾のアジ、サバ釣りに行って来ました。結果は週報で。同行の矢野・小山会員、お疲れ様でした。

茂木知子さん ~進化PART. 1 オスから男性へ~ 人間の進化の過程で、多くの食物を与えられる両手に物を持てるオスがメスに選ばれたそうです。その為、2足歩行の出来るオスが子孫を残すことが出来たそうです。現代の男性は何を女性に与えて進化していくのでしょうか。

山田富雄君 月山さん、山本(登)さん、江森さん、天野さん、大変お世話になりました。

山田正憲君 ①暑い日が続きますがセミの声が聞こえません。どうしたのでしょうか?②木元会長、手塚幹事、ようこそいらっしゃいました。

河野明光君 ごめんなさい。本日、河野は早退です。

山本 登君 暑いネーッ!

石川正三君 今月から月1~2回、スマイルの披露役を相務めますが、頭も目も弱くなっておりますので、スマイルは分かりやすい字で、難しい字にはフリガナを付けて頂きたい・・・。

7月19日	16件	44,000円
本年度累計		164,500円

出席報告

長井 章 出席委員長

会員総数	52名	(36+16)名	
出席会員数	41名	(30+11)名	
出席率	87.50%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	87.50%	前々回補正後	91.67%

卓 話

「新年度挨拶」

◆出席委員会 委員長 長井 章

例会への出席はロータリアンの義務です。毎週例会に出席が出来るよう、また個人の仕事を務めるためにも健康を保つ事は重要です。



当委員会では会員の皆様のお役にたてるよう、一年間活動していきたいと考えております。

出席報告では、毎回出席率が低下することが無い様、また年度末には1名でも多くの皆勤賞受賞者が表彰を受けられる様、お手伝いをさせて頂きたいと考えております。

会員皆様のご協力をお願い致します。

◆職業分類・会員選考委員会 委員長 月山 勇



ロータリーに《欠席扱》はない。ロータリーに入会が認められた者に対して、ロータリアンという名誉ある地位を引き受けた以上、あらゆるロータリーの会合に必ず出席すべき義務を負うことを告げなければならない。

会員選考委員会は、

- (1) 会員候補者が企業の管理者であること。
- (2) 当該事業所がその職種において指導的なものであること。
- (3) その人柄が高潔であること。
- (4) その信用状態に問題がないこと。
- (5) 社交性を持っていること。

以上について、問題なきものと結論に達したとき、その次起こる重要な問題は、その会員候補者がロータリアンとしての熱意を持つ人か、出席を欠かさない人か、実践活動を怠らない人かという点である。

また、最低限、例会出席、及び会費納入が可能か、スポンサー並みに本人に確認させて頂くこととし、会員候補者の会社等を訪問し、その結果を理事会に報告致します。

次に「職業分類」についてです。当クラブでは、2008～2009年度（平成20年）から「職業分類」と「会員選考」の2つの委員会が一体化されました。職業分類はロータリーの原点でもあります「一業種一名」の流れをくむものでありましたが、近年、“組織規定（定款）第8条職業分類第2節一制限に5名、またはそれ以上の正会員がいる職業分類からは正会員を選出してはならない。ただし、会員数が51名以上のクラブの場合は同一職業分類に属する正会員の10%より多くならない限り、その職業分類の下に正会員を選出することが出来る。”となり、分類上ハードルが下がり、選出しやすくなりました。

会員増強を最重点とした規定改正となったわけですが、その結果として会員の質の低下を招くことになりかねません。その歯止めとして、当委員会の存在が問われるものと思われま

す。会長の重点指標の下、増強委員会とも連携し、会員諸兄の新会員候補者のご紹介を切にお願いすると共に、数多く当委員会が活発に開催されることを祈念致します。

1年間、ご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◆クラブ会報委員会 委員長 佐藤 勝彦



昨年度より実行されました会報の電子化に伴い、今年度は電子化によるメリット、デメリットのアンケートを会員皆様にご協力頂き、今後の会報配布のあり方を探って参りたいと思っております。

また、掲載内容に於いても、他クラブ等の会報にも目を通し、従来のスタンスを大切にしながらも何か新しい内容を掲載することが出来るよう、取り組んでいきたいと考えます。

最後に表紙の写真につきましては、幅広いジャンルの写真掲載を行って参りたいと存じます。何卒、よろしくお願い致します。

◆親睦活動委員会 委員長 赤堀 和人



本年度の伊東会長のテーマである「心を見つめよう」に基づき、全会員が楽しく例会へ出席出来る為の環境作りを目指します。

1. 親睦委員会

まず会員の為の会員同士が楽しめる場を作っていきたいと思えます。

2. 例会受付

これまでの受付当番制を維持しつつ、当番以外の委員にはビジター、ゲストの会場への誘導、及び先輩会員への積極的なお声掛けをし、クラブ内の親睦をはかって行きたいと思えます。

3. 家族会

今年度の2回の家族会は会員の家族がまた参加したいと思う様な家族会にしたいと思えます。

4. その他

区民まつり等、親睦委員会でお手伝い出来る事があれば、すべてに於いて積極的にお手伝いしていきたいと考えております。

今年度も昨年度同様、宜しくお願い致します。

◆雑誌委員会 委員長 天野 公史



本年度、R Iテーマ及びクラブ指針のもと1年間頑張りますのでよろしくお願い致します。

時代、年齢と共に活字離れが進むと言われて久しいですが「ロータリーの友」をはじめ関連誌は新・旧の情報が盛りだくさんです。

経歴、キャラクターもまちまちな今年度、当委員会のメンバーが輪番制で紹介することにより関心が高まり読んで頂ける機会が増えればと思っています。記事もさることながら写真だけでも見て頂けるよう工夫・PRして行きたいと思えます。

また「ロータリーの友」への投稿もここ数年来の課題ですので、諸先輩の方々のアドバイスを受けながら掲載して頂けるよう活動して行きたいと考えています。

会員皆様のご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆会員増強委員会 委員長 森永 健



今年度の第2590地区の地区計画では、地域を越えてみんなで会員の発掘と増強することで「各クラブ純増1名必達」が提唱されています。純増1名という目標が会員の減少に対する危機感を強く現わしていると感じられます。

さてそこで、神奈川東ロータリークラブの前年度を振り返りますと、5名の退会者が生じました。退会理由はそれぞれですが、仕事上の理由で退会する方が多いことが残念であり、クラブ活動そのものを敬遠しての退会ではないことが少々安堵感をもたらすものでもあります。

前年度最後の夜間例会で同席した先輩会員から、伝統のあるクラブの会員減少に歯止めがかからないこと、以前は相当数の会員を擁したクラブが今後状況の改善が見込まなければ、存続すら危ぶまれる状態であること等、他クラブの状況を教えて頂きました。

それらのクラブでは会員同士の対立が顕在化してきている様子が伺え、雰囲気そのもの、クラブ活動そのものがある意義なものではなく、会員減少に繋がっているのではないかとの印象が感じられるのと同時に、当クラブのことしか知らない私には極めて意外なことでもありました。

当クラブは、有意義に、また前向きに活動出来るという、本来ロータリークラブがもつべき性質を高い次元で有しているという強

みを生かしつつ、今年度の具体的な活動として、会員各自が候補になりそうな方を年度中に最低1名を例会に招いてください。その方を強く勧誘することは基本的に避け、その方が興味を抱いてくだされば好しとしてロータリークラブを知って頂くことから始めたいと思います。

当クラブでは6名以上となりますので容易なことではなく、会員の皆様の多大なご協力が必要です。

会長、幹事を始め、会員の皆様全員のご協力を切にお願い致します。

ロータリーニュース

ロータリーとゲイツ財団がポリオ撲滅の パートナーシップを拡大

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催中のロータリー国際大会にて、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとなります（年間3,500万ドルまで）。これにより、5億ドル（約500億円）以上の資金確保も可能となります。

世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）が最終局面を迎えている現在、2013年4月の世界ワクチンサミットにて、2018年までにポリオ撲滅を目指す撲滅計画が立ち上げられました。この計画では55億ドルの資金が必要とされ、サミットを通じて40億ドルの寄付が確保されましたが、まだ15億ドルが不足しており、予防接種活動の減速が懸念されています。今回のパートナーシップ拡大は、この懸念が実際の脅威となることを防ぐために決定されました。ゲイツ財団のCEOであるジェフ・レイクスさんは、GPEIの主要パートナー団体とゲイツ財団に加え、ロータリーのネットワークがあれば、ポリオを撲滅できるだけでなく、公衆衛生の取り組み全体を変革することができると話しました。

ロータリーとゲイツ財団は、ポリオ撲滅のために2007年から協力しています。以前には、ゲイツ財団からの3億5,500万ドルの寄付に対して、ロータリーが2億ドルを上乗せすることを目的とした募金活動が実施され、その結果、ロータリアンの尽力によって2億2,870万ドルを上乗せして寄付することができました。今後、資金調達をさらに強化していくためには、より多くの人にポリオ撲滅活動について知ってもらい、各国政府のリーダーに働きかけていく必要があります。

本会議では、世界保健機関のポリオ担当副責任者であるブルース・アイルワードさんによる講演も行われました。撲滅計画の最新情報を説明したアイルワードさんは、ポリオ撲滅というゴールが目の前に迫っていることを指摘しつつ、そこにたどり着くには細心の注意と努力が必要となることを強調しました。

「今、私たちには、撲滅活動を完遂する計画と、その計画を遂行するロータリアンという力強いバックアップがあります」

ロータリーのポリオ撲滅大使である女優のアーチャー・パンジャビさんは、2年間のインド生活で、ポリオによって足が麻痺した人が地面を這う姿を見たときの体験談を紹介し、そのときの光景が、何年間も自身の心に深い影を落としていたと話しました。その後、2011年にロータリーのポリオ撲滅キャンペーンに参加したパンジャビさんは、ポリオの犠牲者が子どもたちであること、そして、ポリオ撲滅活動を通じて子どもたちを助けられることを知りました。

「私のような、そして皆さんのような人びとが声となって、ポリオ撲滅活動を支えることが大切です」

ロータリーのポリオ撲滅活動を率いるジョン・ジャーム・ロータリー元副会長は、一般の人びとに支援を呼びかける必要性をロータリアンに訴え、ポリオ撲滅活動のために100万ドル（1億円）をロータリーに寄付することを約束したナイジェリアのロータリアン、エメカ・オフォール氏を紹介しました。貧しい家庭で育ったオフォール氏は、ビジネスマンとして成功したときに、貧しかった頃の記憶に後押しされて、支援者としての道を歩み始めました。自分が経験したような苦しみから人々を救うことができると幸せだと話すオフォールさんは、さらに多くの人に支援してもらうことへの希望を述べました。

ロータリー財団のウィルフリッド・ウィルキンソン管理委員長は、財団の達成事項について発表し、これほどの成果が可能となったのは、1960年代に財団補助金を奉仕活動に使用するという決定があったからだと述べました。また、李東建ロータリー財団管理委員長エレクトは、ポリオ撲滅を第一とする、2013-14年度の財団目標を発表しました。「困難を経て幸福がある」という韓国の諺を紹介した李管理委員長エレクトは、ポリオ撲滅が容易ではない目標であると認めつつも、全力で取り組む価値のあることだと述べました。

ロータリーニュース

会員の広場

久々に元気な姿を見せて下さいました山田富雄会員。この素敵な笑顔に癒されます。

まだまだ暑い日が続きますが、お身体ご自愛下さい。



我クラブのスリランカ支援事業に協力している同志社女子大学「かたつむりの会」の活動が、読売新聞関西版（7月15日朝刊）で紹介されました。

彼女たちは、一緒に活動を進めている京都光華女子大学「ひまわりの会」の学生たちと、10月13日の反町公園でクラブが行う恒例のスリランカ支援の募金活動に、今年も参加する準備をしているようです。

2013年(平成25年)7月15日(月曜日) 読売新聞 関西版 (第3種郵便物認可)

散歩道

若者を変える大人の力



知り合いの同志社女子大(京都市)の講師、伊ヶ崎陽子さん(69)から、「指導している部活動の学生に会ってほしい」と誘われ、国際ボランティア部「かたつむりの会」を訪ねた。

8年前から、スリランカの子どもたちに贈る教材を手作りする活動を続けている。

紙ではすぐに傷むので、布で絵本を作る。「ONE」「TWO」などと文字を縫い取りし、その数だけ魚や動物のアップリケを付けたものは、数字と英語の教材用。ボタン留めや靴ひも結びを練習で

昨年8月には、学生6人がスリランカ中部のポロンナルワを訪れ、2週間滞在した。携えていった教材に、子どもたちは目を輝かせて飛びついた。渡航の費用をアルバイトで捻出した3年生(20)は「貧しくても、明るくて元気でした。日本人は豊かなのに、小さなことに悩み過ぎているんじゃないか、と思いました」と言う。

全員がスリランカに行けるわけ

海外に留学する比率が減るなど、今時の若者は、内向きと言われる。でも、長い間、教師として向き合ってきた伊ヶ崎さんの考えは違う。「ちょっとしたきっかけやヒントで、若者たちの気持ちは変わる」

若者に方向を示す力が問われているのは、「今時の大人」ではないだろうか。

* (西堂路綾子)

第3月曜日に掲載します。

こどもの詩

ぼ

いろいろなところに
「ぼ」がいっぱい！

たんぽぽ
きしゃぽぽ
はとぽぽぽ！

長峰 圭佑
(東京都北区・志茂南保育園3歳)

のっぽ、しっぽ、ぽ、で終わっても、ぽかぽか、ぽかん、ぽ、で始まって、なぜか楽しい、ぱびぶべぽの、ぼ。(長田 弘)

*** 予告 ***

「ロータリーの友」8月号 国際奉仕特集 “世界に広がる国際奉仕の輪” において、我クラブのスリランカ支援事業の記事が掲載されます。
お楽しみに!!

次回《8月2日》の卓話予定

テーマ「こどもは足枷？ 応援団？ 神奈川区で子育て」

神奈川区長 川名 薫 様
(紹介者 伊澤 政宏 会員)